



発行所
日本聖公会 東北教区
仙台市青葉区国分町2-13-15
TEL 022-223-2349
FAX 022-223-2387
振替 02210-6-2902
定価40円
<http://www.k4.dion.ne.jp/~nsskk.toh/>

シリーズ「だいに・東北」 「教会のやるべきこと」

司祭 フランシス 中山 茂

くとたく
さんの人
がいて、
あつとい
う間に品
薄になり、

東日本大震災が発生したときは、大館幼稚園のお別れ会の日でした。そろそろ(当時勤務していた)盛岡に帰ろうとしていた矢先に、地震が起こり、いつまでも揺れるので気味が悪かったです。管理教会の大館聖パウロ教会の天井から吊るされた電灯が、横に大きく揺れていたのが印象的でした。

少し待てば平常に戻るだろうと、高速バス停に行く、「運休」とありました。時間はかかるが今回はJRで戻ろうと思いい、東大館駅に行く。「復旧の見込みがいつになるかわからない」ということでした。だんだんといつものは事情が違ってくるので、帰る手段がないので、そのまま牧師館に泊まりました。

先生方が味噌汁を作ってくださり、当面食べるインスタント食品を差し入れてくれました。目の前のコンビニに行き、驚きました。皆の家には備蓄があるのだろうかと思いに不思議に思いました。

停電の中、火を弱くして自然対流でストーブを焚き、ロウソクの火で一夜を過ごしました。ラジオが各地での惨状を伝えていましたが、にわかには信じられなかった内容でした。電気は大館市中部から間もなく復旧しましたが、いつまでも交通機関が復旧しないので、戸枝正樹兄が自動車まで送ってくださり、盛岡の教会車で曾根勇司兄に迎えに来ていただきようやく盛岡にもどることができました。そのときはまだガソリンが入手困難だと分かつたから、貴重なガソリンを使って送ってもらい有難かつたです。

盛岡への帰途、松の幹が何本も途中で折れているのが見え、異常な光景でした。盛岡はブロック塀に亀裂が

入り、洗礼盤が移動し、会館の壁が一部崩落し、亀裂が入っていました。幼稚園の床が歪み、ホールと保育室の間の接合部の亀裂が広がり、礼拝堂の塔と階段の接合部も広がり、水道管の漏水があり、抜本的な解決には建て直すしかないとはつきりわかり、1億5千万円という途方もない金額の前になすすべがありませんでした。甚大な被害を受けていたのですが、沿岸部の被害があまりにひどいので、かき消されてしまったようです。

2週間ほど後支援物資を車に積んでようやく釜石に行き、泥に埋まった異様な臭気の中、大槌の瓦礫に埋まった街まで行きました。途中の鶴住居にいたっては住居跡の基礎の土台を残すだけで、一瞬にして生活を奪われた言い得ない悲しみの光景を、それから何度も見ることとなりました。

間もなく盛岡の仁王幼稚園に東松島市からお子さんが転園してきました。お父様は病院の先生で皆を避難させ、最後に逃げる際に被災して津波に流されて亡くなったそうです。その子を目の前にして、

私はノアの箱舟の話ができなくなりしました。それまで得意な話だったので、流されて命を失った人が悪い人だつたとは言えないのです。反対にそれまで不得意だったガリラヤ湖の上を歩くイエス様の話が大事な話となりました。神様は自然界に起きる出来事の上におられる方なのだ。

むつ会衆の礼拝の際に、恐山に行くと言提寺の境内に大きな四角い柱が建てられていました。東日本大震災の犠牲者を覚えて建てられた鎮魂の碑の脇には「破夢」と文字がありました。霊場に訪れた縁者は、この碑を見て、無念までも覚えて祈ってくれていくことに気付くでしょう。教会のやるべきこともこれだと思つた瞬間でした。

私にはノアの箱舟の話ができなくなりしました。それまで得意な話だったので、流されて命を失った人が悪い人だつたとは言えないのです。反対にそれまで不得意だったガリラヤ湖の上を歩くイエス様の話が大事な話となりました。神様は自然界に起きる出来事の上におられる方なのだ。

むつ会衆の礼拝の際に、恐山に行くと言提寺の境内に大きな四角い柱が建てられていました。東日本大震災の犠牲者を覚えて建てられた鎮魂の碑の脇には「破夢」と文字がありました。霊場に訪れた縁者は、この碑を見て、無念までも覚えて祈ってくれていくことに気付くでしょう。教会のやるべきこともこれだと思つた瞬間でした。

むつ会衆の礼拝の際に、恐山に行くと言提寺の境内に大きな四角い柱が建てられていました。東日本大震災の犠牲者を覚えて建てられた鎮魂の碑の脇には「破夢」と文字がありました。霊場に訪れた縁者は、この碑を見て、無念までも覚えて祈ってくれていくことに気付くでしょう。教会のやるべきこともこれだと思つた瞬間でした。

むつ会衆の礼拝の際に、恐山に行くと言提寺の境内に大きな四角い柱が建てられていました。東日本大震災の犠牲者を覚えて建てられた鎮魂の碑の脇には「破夢」と文字がありました。霊場に訪れた縁者は、この碑を見て、無念までも覚えて祈ってくれていくことに気付くでしょう。教会のやるべきこともこれだと思つた瞬間でした。

むつ会衆の礼拝の際に、恐山に行くと言提寺の境内に大きな四角い柱が建てられていました。東日本大震災の犠牲者を覚えて建てられた鎮魂の碑の脇には「破夢」と文字がありました。霊場に訪れた縁者は、この碑を見て、無念までも覚えて祈ってくれていくことに気付くでしょう。教会のやるべきこともこれだと思つた瞬間でした。

むつ会衆の礼拝の際に、恐山に行くと言提寺の境内に大きな四角い柱が建てられていました。東日本大震災の犠牲者を覚えて建てられた鎮魂の碑の脇には「破夢」と文字がありました。霊場に訪れた縁者は、この碑を見て、無念までも覚えて祈ってくれていくことに気付くでしょう。教会のやるべきこともこれだと思つた瞬間でした。

